

市民の風 通信

戦争させない市民の風・北海道

連絡先 〒061-2273 札幌市南区豊滝2丁目9-6 小林方 [電話] 090-2070-4423 [FAX] 011-596-5848
[メール] 1-siminmado@freeml.com [HP] http://市民の風.com

2017年春号 (NO. 5)

定価 1部 100円

購読料は会費に含みます

12選挙区中

全道に広がる市民と野党の共同

9選挙区で「市民の会」結成又は準備中

「戦争させない市民の風・北海道」「医療九条の会・北海道」「市民連合北広島」の3団体の呼びかけで「安倍政権の暴走を止めるための市民と野党の共同行動をつくる円卓会議」が3月26日14時から道自治労会館3Fホールで開かれました。北海道12の選挙区で市民と野党の共同（共闘）をつくるために、様々な市民団体や労働組合が結集して協議していく場としての円卓会議ですが、今回は30団体50名以上の参加者でした。

全道各選挙区にできている「共同（共闘）を求める市民の会」も参加して、現在までの取り組みを報告して頂きました。衆議院議員の北海道小選挙区は12ありますが、札幌関連の1、2、3、4、5区と、旭川（6区）、室蘭（9区）、空知（10区）から市民団体の代表者が参加し、各地で進められている「市民と野党の共同・共闘」「統一候補の実現」に向けた活動報告と経験交流をしました。今回は参加できませんでしたでしたが、北見でも1月に270名が集まって「12区の会」が結成されるなど、昨年末からこの数カ月の間に北海道各地で市民運



動が大きく進んでいることが実感しました。

会議のまとめとして『各地域で市民と野党の共同行動をさらに強めていく』『労働組合についても一致できる課題について共同行動を進め、信頼関係を作り上げていく』ことなどを参加者で確認しました。

昨年の衆議院5区補選での市民と野党の共闘の取り組みから始まった新しい枠組みでの市民の政治参加の運動の広がりや結集を、さらに全道的な規模で広げていきたいと思います。（詳細は2・3面）

市民が変える
政治を変える

市民と政党の対話集会

市民と野党の共同で安倍政権の暴走を止めよう！

市民と共産党

4月29日（土） 14:00～16:00

札幌市教育文化会館 4F講堂

☆共産党北海道委員会の委員長・書記長・国会議員の方が出席予定です。

市民と民進党

5月13日（土） 14:00～16:00

北海道自治労会館 5F大ホール

☆民進党北海道の代表・幹事長・国会議員の方が出席予定です。

安倍政権は国民の不安や反対を無視して安安保法制（戦争法）を強行可決し、さらに改憲勢力が国会で3分の2を占めた数の力で憲法を改悪しようとしています。この安倍内閣の暴走を止めるためには市民と野党が共同し、力を合わせて闘っていかねばなりません。そのために市民はどうしたらいいのか？ 政党はどうしたらいいのか？ 市民と政党との率直な対話の中から力強い共同の絆をつくりあげていきたいと思います。

（※社民党との対話集会は6月頃に予定しています）

主催：市民の風・北海道 医療九条の会・北海道 市民連合北広島

3/26 円卓会議で報告された各選挙区の状況

共同行動の積み重ねで信頼関係を

1

区 (札幌市中央区・南区・西区)

3月20日に「1区の会」の南区部会中心で「共謀罪に反対する学習集会」を南区民センターで開き230人が参加した。集会後には真駒内駅前で反対集会をし、集会で採択したアピール文書を市議会・道議会・市長に提出し、マスコミにも配布した。

この集会に向けては、2月17日に共産党・民進党をはじめ戦争に反対する南区民の会、野党共闘を求める1区の会、市民の風・北海道、新婦人、革新懇など13団体17人が急遽あつまり実行委員会を作り、カラーのチラシを1万枚作成して、集会1週間前には配布を終えた。

全ての共同行動については難しいこともあるが、共謀罪などの課題別では一緒にやっていける。



3月20日の南区民センターの学習集会

2

区 (札幌市北区・東区)

昨年11月に「市民の風」の呼びかけで6人(その後8人)の世話人で会議を積み重ね、12月21日に「市民と野党の共闘を求める2区の会」のキックオフ集会と市民トークを130名の参加者で開いた。この集会には候補予定者である民進党・松木けんこう(現議員)さんと共産党・金倉まさとしさん、社民党、市民ネットワークから代表者が参加し、自由党の山本太郎さんからはメッセージを戴いた。現在、会員は102人になっている。

2月4日には両候補予定者からのスピーチの後に参加者の質問を受けるトークカフェを100名の参加で開いた。2回目は4月15日に開くが、各野党の道・市議会議員、党関係者にも参加してもらうために事務所訪問をしている。

秘密保護法、道新法、安倍法制、共謀罪
...そして改(横)憲!
安倍政権の暴走を止めるために!!
市民と野党の交際の場にご参加ください。

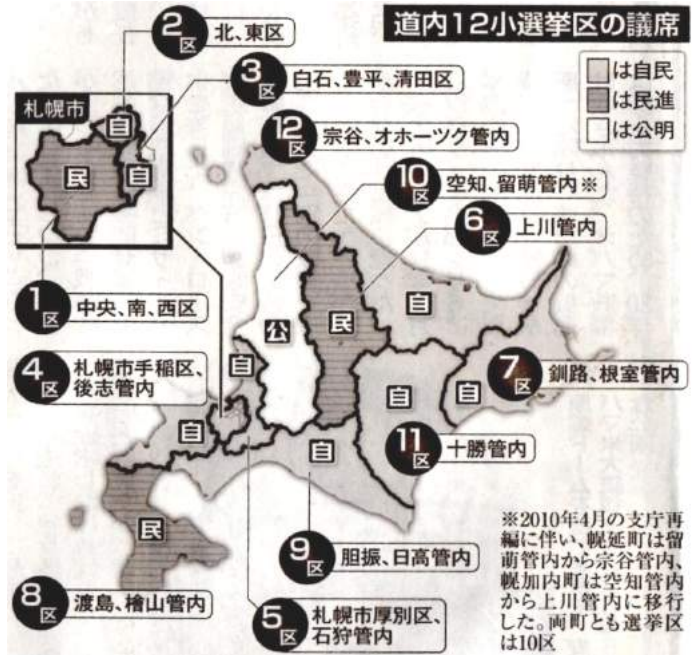
2区(東区・北区) 第2回
市民と野党のトークカフェ

4月15日(土) 午後6:30~
札幌市民ホール2F 第1・第2会議室(北1西1)

参加費 500円
市民と野党の共闘をもとめる2区の会
問合せ先 011-819-9811(札幌) 011-854-1931(東区)
部内資料

4月下旬か5月に立憲野党と共同街頭宣伝を行いたいと思っている。

「2区の会」を皆さんに知ってもらうことが今一番の課題だと思っている。



(北海道新聞2017.1.19)

3

区 (札幌市白石区・豊平区・清田区)

1月28日に「市民と立憲野党の共同を求める北海道3区市民の会」として結成。民進党、共産党、社民党、新社会党、緑の党、自由党の立憲野党から来賓又はメッセージを戴いた。

4月15日14時から里塚・美しが丘地区センターで「安倍さんにサヨウナラを!? 市民集会」を開き、結城洋一郎共同代表から「政治と市民」と題した基調講演。

その後、民進党・荒井聡衆議院議員と共産党・川部竜二候補予定者、社民党、新社会党の代表でパネル討論をする。

国政選挙の実働部隊は地方議員と労働組合。市議会議員や道議会議員、労働組合との協議も必要だと思う。

北海道3区市民の会
【お知らせ】
4.15(土) 14:00 里塚・美しが丘地区センターにて
「安倍さんにサヨウナラを!? 市民集会」を行います
※パネル討論
北海道3区立候補予定者
民進党 荒井さとしさん
共産党 川部りゅうじさん
ぜひお越しください



1月28日の結成総会

4 区 (札幌市手稲区・後志管内)

(手稲区) 昨年12月23日に約80名の参加で「手稲区民の会」(略)を結成し、共産党と民進党事務所への挨拶や両候補予定者との懇親会などをしてきた。1月からは「3の日・19の日」に両候補予定者とJR手稲駅周辺で共同行動をしている。

4月15日に大きな対話集会を予定しており、9条の会をはじめ多くの市民団体や共産党、民進党もビラ配布などに協力してくれている。ただ、連合の組合関係と繋がりがもててない。区民の中で信頼を得ること。若い人、特に現職の労働者が立ち上がることが課題だ。

(小樽市) 2月25日に105名の参加で「市民の会・小樽」(略)を結成した。総会には全立憲野党、ママの会や俱知安からメッセージを戴いた。



2月25日の結成総会

5月14日に共謀罪の集会を予定しているなど、月2回位の行動を考えている。同じ4区の手稲区と連携して運動を進めていきたい。



5 区 (札幌市厚別区・石狩管内)

(江別市) 補選後暫く休んでいたが昨年末から再開。街頭宣伝を17回位行っている。市民の反応は今年の補選時より良い。統一候補として池田まきさんを押し上げていくため民進党や共産党へ要請行動をしているが、いまだ決まっていなことももどかしさを感じている。勝つために仲間を増やしていきたい。



(北広島市) 補選の反省として各自治体ごとや5区全体で候補を抱える会が必要だと思った。それで3月9日に各自治体から有志22名に集まり相談。4月6日に準備会を持ち、5月20日に「5区の会」を起ち上げることになった。

(厚別区) こんどこそ絶対勝ちたい。遅れていたが厚別9条の会を中心に、4月29日に「厚別の会」をつくる準備をしている。

6 区 (上川管内)

(準備会) 「6区の会」を作ろうと1月位から有志で相談し、9条の会を中心に呼び掛け人を募っている。4月中に世話人会、5月には結成をめざしたい。

6区は民進党の佐々木隆博さんが勝っている選挙区で民進党側には共闘しなくても勝てるじゃないかという楽観論があることや9条の会の中にも選挙は別と考えている人もおり、呼び掛け人集めに苦労している。

9 区 (胆振管内・日高管内)

(西胆振の会) 2015年の夏から戦争法反対などで毎週スタンディング等をしているが、その時から民進党・共産党・社民党に働きかけて共同行動を行っている。昨年、上田文雄共同代表に来ていただき「市民の風」の活動についての学習会をした。4月15日には川原茂雄共同代表に来ていただいて集会を予定している。この日は当初候補予定者を呼ぶつもりだったが日程の調整がつかなかった。他の地域は既に取り組んでおり次の課題にしたい。

苫小牧、日高にも動きがあるが統一して組織を作るとは物理的にも難しいと思っている。

10 区 (空知管内・留萌管内)

昨年11月からTPPの抗議集会などをしてきたが、その勢いで2月11日に岩見沢で「10区の野党統一候補の実現を求める会」を約180名の参加で結成。3月末までに335名を超える賛同人となっている。民進党・共産党に共同行動を申し入れているが、民進党からはまだ積極的な答えを貰えないでいる。

今日の会議で先進的な区の実践を学んだので、政党と一致できる行動を進めていきたい。

10区は広い。空知のこの動きを留萌管内に広げることが課題だ。



2月11日の結成総会

12 区 (オホーツク管内・宗谷管内)

1月22日に北見市で緊急シンポジウム「立ち上がろう！政治を変えるためにあなたと野党の共同で」が開かれ、270名が参加する中で「市民と野党の共闘を求める12区の会」を結成。講演は市民の風・共同代表の上田文雄・川原茂雄さん。次期衆議院候補予定者の民進党・水上みかさん、共産党・菅原誠さんも参加して決意を述べた。

その他、参加された団体からの報告・意見

(道労連) 政党別選挙は行ってこなかったが、今の政治状況を何とかしなければならない。選挙区で統一候補が実現したら、組織として個人としてどう対応できるか協議している。

(民医連) 組織として一定の政党の候補を推したことはないが、安倍政権の暴走を止めるために組合としてどうするか議論をしている。一緒に闘っていけるようにしたい。

(自治労) 主旨に賛同して円卓会議に参加しているが、連合内組織として動きは難しいものがある。しかし、戦争法・共

謀罪など連携しなければならない課題が多い。政策的な共通課題から連携を見出していきたい。

(自治体退職者会) 選挙については現職・退職者一致が運動の基本なので難しい面もあるが、出来れば統一すべきと思うので、全体的に理解してもらって運動をしていきたい。

(さっぽろ勝手連) 国民投票は国民にとって武器となる可能性もある。しっかりと勉強が必要。学習会を開催している。

(ユニキタ) 共謀罪での共同は可能。市議会に反対要請を上げてもらいたい。戦争法については南スーダンPKOの検証を選挙区の各候補に求めて欲しい。市民運動はタイムリーな行動が大切。



女性と子どもの貧困を考えるつどい 当事者の立場に立った解決を

4/2 厚別区民センターに120名が参加

4月2日に厚別区民センターで「女も男も共に生きる社会をめざす会」と「戦争させない市民の風・北海道」の共催で『女性と子どもの貧困を考えるつどい』が開かれました。池田まきさんが「女性と子どもの貧困—その実際と解決の糸口」、池田賢太弁護士が「憲法と子どもの貧困—母子家庭を中心に」と題しての講演です。

池田まきさんは1994年の国際家族年から10年間の日本の官・民の取組みが生かされなく法整備が遅れている現状を指摘。「生活が手一杯で教育までいきつけない子どもたちがたくさんいる。まずは貧困対策」と当事者の立場に立った問題解決の重要性について訴えました。

池田賢太弁護士は「憲法と貧困、母子世帯のおかれている現状、国民主権」について分かり易く情熱を込



めて話されました。日曜日の午後2時から、しかもテーマが「固い内容」でしたので心配しましたが、用意した机・椅子で足りなくなり、補助椅子まで出す120名の参加者となりました。この「つどい」は4月8日（土）14時から江別市野幌公民館でも開きます。

1月29日「市民の風・北海道」臨時総会

5区 池田まきさんと 『共闘合意』『政策合意』を調印



「戦争させない市民の風・北海道」は1月29日（日）に札幌市教育会館4階講堂で臨時総会を開き、「衆議院北海道5区市民統一候補勝利のための共闘合意・政策合意」（案）について全参加者で承認しました。

総会后に池田まきさんと市民の風・北海道の「市民統一候補勝利のための共闘合意」（右上）「統一候補勝利のための政策合意」（右下）の調印式を行い、参加者全員でお互いの健闘を確認しました。

衆議院北海道5区市民統一候補勝利のための共闘合意

- 1 池田まきは、衆議院北海道5区の選挙において、憲法改悪阻止、安保法制阻止、立憲主義と民主主義の回復をめざす市民の統一候補として勝利することをめざして奮闘します。
- 2 戦争させない市民の風・北海道は、衆議院北海道5区の選挙において、憲法改悪阻止、安保法制阻止、立憲主義と民主主義の回復をめざす市民の統一候補としての池田まきの勝利をめざして奮闘します。

以上の二点について合意し、憲法改悪阻止、安保法制阻止、立憲主義と民主主義の回復をめざすあらゆる政党・団体・市民とともに全力をつくして衆議院選挙における勝利をめざし共に奮闘します。

衆議院北海道5区市民統一候補勝利のための政策合意

- 1 尊厳ある社会保障
子育て・教育・年金・介護など、すべての人に安心を約束する尊厳ある社会保障の実現をめざします。
- 2 人間らしい働き方
「効率優先」「成長依存」の社会を脱却し、人間らしい働き方ですべての人が豊かになる経済をめざします。
- 3 地域主義
北海道らしさ、地域らしさの発見と発信をすすめ、北海道の産業を守り、北海道の自治をめざします。
- 4 平和と憲法
核のない、戦争のない世界をつくるため、真の立憲主義を確立し、憲法の平和主義を守ります。
- 5 脱原発

原発ゼロ社会をめざして廃炉問題に取り組み、恵まれた自然エネルギーを活用するエネルギーの地産地消をすすめます。

以上、五点の基本政策について、池田まきと戦争させない市民の風・北海道の間において合意することを確認するとともに、池田まきは当選後、国政の場において、上記政策の実現にむけて全力を尽くして行動することを誓約する。

国民監視の「共謀罪」は廃案へ